

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第17週(令和8年4月20日～令和8年4月26日)

<発生動向>

第17週は結核の報告が5件ありました。結核の主な症状は咳や痰、発熱等で風邪の症状に似ていますが、風邪との違いは症状が数週間続き、治ったと思ったらまた繰り返すことです。2週間以上、咳や痰が続く時は医療機関を受診しましょう。また、年に1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

なお、大型連休中は人の移動や不特定多数との接触が多くなりますので、こまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策を心がけましょう。海外渡航を検討されている方は、渡航先で流行している感染症についての情報を各検疫所や外務省のホームページで入手し、適切な感染予防を行いましょ。帰国後に体調を崩した場合は、医療機関を受診する際に海外渡航歴があることを伝えましょう。

次回(第18週)の発表は5月11日(月)になります。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	5	51	17	251	249	4,131
レジオネラ症	1	6	1	22	32	504
急性脳炎	1	3	1	9	2	144
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	11	1	28	20	464
百日咳	1	20	3	108	90	2,436

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	10	0.43	0.26	43	0.35	2,556	0.68
インフルエンザ	14	0.61	0.83	47	0.39	3,457	0.92
急性呼吸器感染症	1,206	52.43	52.22	6,543	53.63	186,273	49.95
RSウイルス感染症	21	1.62	1.54	126	1.80	1,337	0.59
咽頭結膜熱	12	0.92	1.15	63	0.90	581	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	3.31	3.62	385	5.50	6,673	2.96
感染性胃腸炎	87	6.69	6.92	416	5.94	11,424	5.06
水痘	1	0.08	0.31	51	0.73	726	0.32
手足口病	13	1.00	0.08	61	0.87	411	0.18
伝染性紅斑	1	0.08	0.23	2	0.03	190	0.08
突発性発しん	5	0.38	0.46	34	0.49	619	0.27
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.00	12	0.17	105	0.05
流行性耳下腺炎	2	0.15	0.08	5	0.07	78	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	8	0.01
流行性角結膜炎	5	0.83	1.17	36	1.38	258	0.37
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	8	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	0	0.00	23	0.05
マイコプラズマ肺炎	1	0.50	0.50	2	0.13	81	0.17
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	8	0.02
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.50	1.00	1	0.07	32	0.07

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。